

I ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

修士課程（看護学専攻）

旭川医科大学大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）では、教育の目標に沿って編成された年次カリキュラムを履修し、基準となる単位数を修得し、次の資質と能力を身につけたと認められ、かつ論文審査（高度実践コースは、特定の課題研究の成果を含む）及び最終試験に合格した学生に対し学位（修士（看護学））を授与します。

・修士論文コース

「倫理観に基づいた看護の社会的使命の遂行」（態度）

生命の尊厳を尊重し、医療倫理を理解し、医療・保健・福祉に貢献する者として社会的使命の遂行に寄与する意欲と態度を有している。

「看護学に関する十分な知識と生涯学習能力」（知識）

看護学に関連する広い知識と専攻する領域の専門的知識を有している。

また、研究・教育・看護実践を遂行するために生涯にわたる学習の必要性を理解し、そのための方法を身につけている。

「根拠に基づいた基礎的・専門的看護実践能力、研究遂行能力」（技能）

看護の課題を探究し、看護の対象（個人・家族・集団・地域）に対してエビデンスに基づいた看護に取り組むことができる。

「問題解決能力、発展的思考能力、研究心」（思考・判断）

看護に関する研究の意義を理解し、論理的、科学的で、かつ倫理原則に基づいた研究を実践できる。

「地域社会・国際社会へ貢献するための能力」（意欲・関心）

看護学の研究に関する基礎的能力を活かして地域社会、国際社会に貢献できる。

・高度実践コース

「倫理観に基づいた看護の社会的使命の遂行」（態度）

生命の尊厳を尊重し、医療倫理を理解し、医療チームの一員として看護ケアの質の向上を図る意欲と、卓越した専門的能力を持つ実践者としての態度を身につけている。

「看護学に関する十分な知識と生涯学習能力」（知識）

専門領域を深めるための基盤となる高度看護実践の知識を有している。

また、高度な実践のために生涯にわたる学習が必要であることを理解し、そのための方法を身につけている。

「根拠に基づいた基礎的・専門的看護実践能力、研究遂行能力」（技能）

複雑な病態と健康レベルとのアセスメントを的確に行い、根拠に基づいた分析的・科学的で高度な専門的看護を実践できる。

「問題解決能力、発展的思考能力、研究心」（思考・判断）

専門の特定領域に関する研究の意義を理解し、論理的、科学的で、かつ倫理原則に基づいた研究を実践できる。

「地域社会・国際社会へ貢献するための能力」（意欲・関心）

高度な実践、研究を通じて地域社会、国際社会に貢献できる。